

S

case study Voyage

Shop List



ヴァルカナイズ・ロンドン 青山店

ブリティッシュブランドの聖地が青山に。ファッションだけでなく文化、歴史までも英国をイメージできるミュージアム的なショップ。カフェも併設。東京都港区南青山 5-8-5 tel:03-5464-5255 <http://www.vulcanize-lon.com>



ソファ「REFOLO」ベース¥546,000、カッシーナ・イクスシー青山本店 グローブ・トロッター「センチュリー」レッドの30インチスーツケース¥168,000、ジョンストンズの大判ストール¥54,600、カール・ドノヒューのファーのボンボン帽子¥39,900 / 以上ヴァルカナイズ・ロンドン ナ・ウィルソンのぬいぐるみ「パプロ」¥9,450、赤いフォックスマフラー¥11,550、敷いたループル美術館の床を表現したラグ ナチュラル¥55,650 / 以上バイ・トリコ Parrotのヘッドフォン「zik」¥39,900、チェック柄のマフラー¥10,500、紺色のハット¥28,350 / 以上リビング・モティーフ ソックスモチーフの刺繍がチャームな巾着¥2,310、白いニットで編んだアニマルポーチ ¥2,625 / 共にシボネ青山 スツール「コルクファミリー」¥39,900 / hhstyle.com 青山本店 フランスの壁紙ブランド「Kozie」の壁紙 ¥9,480/本 (53cm x 10m) / WALPA



シボネ青山

インテリアからファッション、アートまで自由なスタイルで本質的な価値のあるデザインを追求し、大人のライフスタイルを提案。常に刺激に満ちあふれた空間をつくりだしている。東京都港区北青山 2-14-6 青山ベルコモンズ B1 tel:03-3475-8017 <http://www.cibone.com>



リビング・モティーフ

上質な生活を提案するライフスタイルショップ。季節感あふれるメインフロアの1F、ワークアイテムとプライベートアイテムが揃う2F、洋書、デザイン書籍を扱うB1Fがある。東京都港区六本木 5-17-1 AXISビル B1F, 1F, 2F tel:03-3587-2784 <http://www.livingmotif.com>



hhstyle.com 青山本店 tel:03-5772-1112
カッシーナ・イクスシー青山本店 tel:03-5474-9001
ザ・コンランショップ tel:0120-04-1660
大作商事 tel:03-3539-4000
バイ・トリコ tel:03-3532-1901
marcs international tel: 03-6861-4511
WALPA <http://walpa.jp/>
(五十音順)

Taste of Marunouchi



ブラスリーオザミ

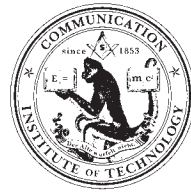
昼も夜も大にぎわいの人気ビストロ。バリの雰囲気を感じられる店内では、こだわりの素材を使ったボリュームたっぷりのビストロ料理を味わえる。もちろんワインも豊富なので、あわせて楽しんで!

東京都千代田区丸の内 3-3-1 新東京ビル 1F
tel:03-6212-1566 <http://www.auxamis.com/brasserie/>

丸の内体育会美食部では、丸の内の食を食べつくすプロジェクト実施中 <http://www.marunouchi.co.jp>

What is LAB.?

「LAB.」は、ライフスタイル、食、健康などを研究するデザイン事務所、サカキラボが年に4回発行しているフリーペーパーです。理想の実生活を実現するための研究成果の一部をご紹介します。



SAKAKI LAB

LAB. Researcher

Art Direction&Design:

Kyoko Kato/Yuya Kawata(Sidekick)

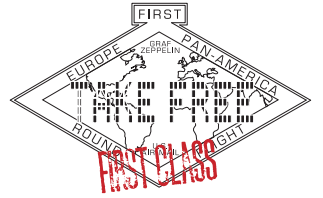
Edit:Sakaki Lab

*本誌に掲載の情報は2012年11月のもので、変更になっている場合があります。

発行: サカキラボ 100-0005 東京都千代田区丸の内 3-2-3 富士ビル B116 03-6269-9900 www.sakakilab.net

LAB.

Photos:Gorta Yuuki
Styling:Masayo Motegi(pepe+)
Published by SAKAKI LAB



Numero 2

2013.11
Fun with Travel

case study Voyage



P oint

case study Voyage

スタイリスト茂木雅代さんに聞く

目的地を決めた時旅は始まっている

「今度はここに行く！」そう決めたときから旅は始まっています。仕事などに追われてバタバタと出発する方が多いと思いますが、たまには余裕をもって楽しく準備をしたいものです。「これを持ってこんなことをしよう」など、行き先に思いを馳せながら持ち物にこだわれば、旅への夢は一層広がります。

今回は、冬の旅というテーマで、準備する部屋もニットやラグなどで温かみを演出しました。ソファでちょっと休憩しながら作業するのもいいですね。

こだわりは人それぞれあると思いますが、旅先でも快適に心地よく過ごせるものを選びたいもの。たとえば、荷物をつめる楽しさをより感じられ、世界中を旅する相棒にしたいのがグローブ・トロッターのスーツケース。丁寧につくられ、一生ものの価値があります。好きなものに囲まれて旅に出ませんか？

Point 01

Koziel 壁紙

元舞台装飾のデザイナーだったクリストフ・コズィエルが立ち上げたフランスの壁紙ブランド、Kozielのニットパターンの壁紙。寒い季節にびったりの、思わず触りたくなるニットが表現されています。¥9,480/本 (53cm × 10m) / WALPA

Point 02

コートハンガー

壁に立てかけることで安定するコートハンガー。ホワイトと木材の組み合わせが美しく、どんな場所にもなじみます。普段の洋服などの収納にはもちろん、旅行の準備にも便利です。参考商品 (2013年発売予定のため) / marcs international

Point 03

REFOLO

シャルロット・ベリアンがデザインしたソファ。ベースとクッションの組み合わせが容易で、ベースにはものを置くこともできます。ソファ「REFOLO」ベース ¥546,000、背、座クッション ¥600,000 / 共にカッシーナ・イクスシー青山本店

Point 04

グローブ・トロッター「センチュリー」

グローブ・トロッターを象徴するデザインの「センチュリー」。ヴァルカン・ファイバーのボディに、レザーコーナーとレザーストラップをあしらっています。レッドの30インチスーツケース (75 × 44 × 24cm、5.2kg) ¥168,000 / ヴァルカナイズ・ロンドン

Point 05

ラグ

肌触りがよく、床に座り込んでスーツケースに荷物をつめても気持ちのいいラグは冬の部屋に欠かせません。空間に温かみとやさしさを添えてくれます。白いシャギーラグ ¥167,286 / シボネ青山



三菱地所のレジデンスクラブマガジン5号表紙より

Masayo Motegi

日立デザイン研究所のプロダクトデザイナーを経て、サザビー (現在のサザビーリーグ) でアフタヌーンティーの企画に携わる。1992年にスタイリストとして独立。雑誌や広告のインテリアスタイリング、展示会場構成、ショッププランニングなどを手がける。



G

case study Voyage

oods for good!

旅気分が盛り上がる!

充実した旅に欠かせないのが
こだわりのトラベルグッズ。
お気に入りを持って出かけましょう!

zoom art

アート好き必携の単眼鏡「zoom art」。美術館や博物館でのアート鑑賞や街中の建物のディテールなどを見るときに活躍します。長さ調節可能なストラップ付きなのもうれしい。zoom art クローム (L8.2cm) ¥3,675 / リビング・モチーフ



フレッシュエアー キャンドル

1830年創業の由緒ある英国キャンドルメーカー PRICE 社のフレッシュエアーキャンドル。グレープフルーツ&ペパーミントの香りで、旅先のホテルで癒やされたいときにおすすめです。(φ7×H4cm) ¥1,365 / ザ・コンラংশョップ



巾着

ベトナムの職人により施されたキュートな刺繍が魅力的な巾着。靴下やランジェリーを詰めるのに使えば、スーツケースを開けるのが楽しくなりそう。さまざまな用途に使えます。(W29×L40cm) ランジェリー柄 ¥1,995 ソックス柄 ¥2,310 / 共にシボネ青山



ハンドブレッソ

コーヒー粉やカフェオッドも使える電気不要のハンディ型エスプレッソマシン。(W22×D10×H7cm) ¥12,600 さらに専用カップなどが付属したキャリーケース、プレミアムセットもあり、旅先でもおいしいコーヒーを楽しめます。(W21×D26×H9.5cm) ¥12,600 / 共に大作商事



アンチボトル

水を飲み終えたらクルクルと丸めて小さく収納可能なエコフレンドリーな携帯型ウォーターボトル。繰り返し使うことができ、冷凍庫で中身を凍らせることも可能です。ウェイバー「アンチボトル」(500ml) 各 ¥1,260 / リビング・モチーフ



デジタルアラーム クロック

目覚まし時計永遠の定番ブランド、ブラウンから、1979年のモデルをベースにしたデジタルアラームクロックが登場。液晶ディスプレイをはじめ高品質プラスチック、電波機能を搭載。(W5.75×D2×H5.75cm) ¥4,935 / リビング・モチーフ



トラベルノート&ガールノート

英国王室御用達のステーションナリーブランド、スマイソンのノート。旅の思い出を綴ってみたい。旅行にぴったりの「トラベルノート」(9×14cm) ¥8,400 ピンクがかわいい「ガールノート」(7×10.5cm) ¥6,300 / 共にヴァルカナイズ・ロンドン



カレンシーポーチ

4つのポケットが付いた、スマイソンのカレンシーポーチ。複数の外貨やレシートなどをスマートにしまえる優れもの。ジップの色がそれぞれ異なっているのも、どこに何をしまったかが一目瞭然です。(22×15cm) ¥33,600 / ヴァルカナイズ・ロンドン



クッション

国や都市を象徴するモチーフが手刺繍で描かれたキャットスタジオのクッション。写真のタイプはフランス。旅の思い出をインテリアに取り入れて! タグにナンバリングが施されたリミテッドエディションです。(47×15cm) ¥21,000 / シボネ青山

GENEVA Model XS

世界初のポータブル Hi-Fi サウンドオーディオシステム「GENEVA Model XS」。Bluetooth 接続プレーヤーだから音楽をワイヤレスで楽しめます。クラシカルなトラベルクロックにインスパイアされたデザインも素敵。(W15.7×D11.5×H15cm) ¥23,730 / リビング・モチーフ



F

case study Voyage

inding stars

5つ星のエアライン、カタール航空で美食の都パリへ。

ホテルや食などさらなる「星」を探す旅をしませんか？

Photos:Ted Kikasaru Coordination:Keiko Sumino-LEBLANC

カタール航空で 空の旅がより楽しく！

航空業界評価機構であるスカイトラックス社が認定する5つ星航空会社の1社に選ばれているカタール航空。このたび、成田—ドーハ線ノンストップ便が新たに就航し、ますます便利になりました。

中東、アフリカ、ヨーロッパ、南米の120都市に就航していますが、今回はこの便を利用して、パリへ。毎日 22:30 成田発、翌 13:10 パリ着というスケジュールなので、仕事帰りにそのまま旅に出かけられるのも魅力。

ファースト・ビジネスクラスを利用するとドーハ国際空港のプレミアム・ターミナルで乗り継ぎ時間を優雅に過ごせます。

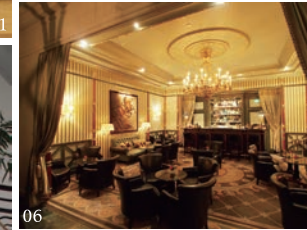
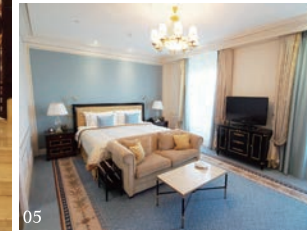
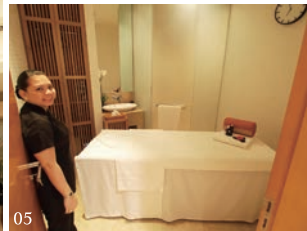
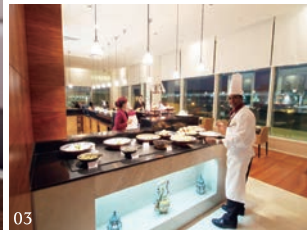
Air Line

カタール航空 Qatar Airways

<http://www.qatarairways.com/jp>



01. ゆったりとしたビジネスクラスのシート。シャンパンが旅の始まりを盛り上げる！一流シェフが監修する食事と多彩なドリンク、機内サービスで快適な空の旅が実現。02. ~ 06. 乗り継ぎがスムーズに行えるドーハ国際空港プレミアム・ターミナル。広々としたビジネスクラスラウンジではさまざまな料理が自由に楽しめる。免税店はもちろん、ファーストクラスラウンジには疲れを癒やすスパも完備。



01. 大理石を使った豪華なロビーを進むと、重要文化財となっている階段が現れる。02. レストラン「ラ・バウヒニア」。メタルフレームとガラスのドーム型天井が印象的。03. ルイ 14 世様式で飾られたレセプションスペース「ル・グラン・サロン」。04. 最上階の「ラ・スイート シャングリ・ラ」からはエッフェル塔を独占。05. 宿泊は1泊1室750€。06. 深夜まで楽しめる「ル・バー」。07. 輝く5つ星。

Hotel

シャングリ・ラ ホテル パリ

Shangri-La hotel PARIS
<http://www.shangri-la.com/jp/paris/shangrila>

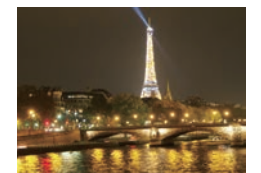


歴史的建造物を生かした 豪華で洗練されたホテル

宿泊は5つ星のシャングリ・ラ ホテル パリ。2010年12月、パリ16区にヨーロッパ初のシャングリ・ラ ホテルとしてオープン。1896年に、ナポレオンを大伯父にもつローラン・ボナパルト王子の邸宅として建築された歴史的建造物が、4年の歳月を経てホテルとして生まれ変わりました。

一歩足を踏み入ると、そこはまさに非日常の世界。当時の面影を残すインテリアに囲まれて、夢のような時間が過ぎます。歴史を感じさせるエレガントなレストランやバーをはじめ、近くオープンするゲスト専用ウェルネスセンターにも注目。

街で見つけたStar #1



パリのシンボル、エッフェル塔がキラキラの星をまとう！ 25時までの毎時5分間、ライトアップされたエッフェル塔が星のようなイルミネーションで光り輝きます。幻想的な美しさを目に焼き付けて。

Food

ラベユ

L'ABELLE

<http://www.shangri-la.com/jp/paris/shangrila/dining/restaurants/labelle/>



ディナーは2012年ミシュランガイドで2つ星を獲得しているシャングリ・ラ ホテル パリのフレンチレストラン。上品で華やかなインテリアの店内で、ゴー・ミヨガイドの「2013年シェフ・オブ・ザ・イヤー」賞を獲得したフィリップ・ラベ総料理長によるモダンフレンチを選びすぐりのワインと一緒に楽しめます。目にも美しい料理の数々とともに、記憶に残るパリの一夜を。おなかを空かせて出かけましょう！



01

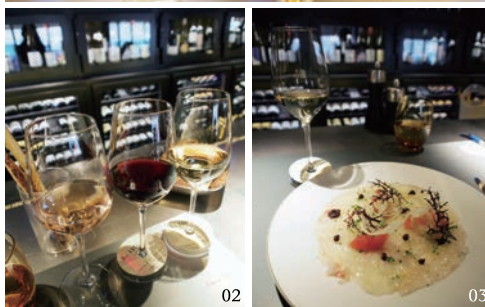
01. デギュスタシオンメニュー（210€）のメインの肉料理、鴨のロースト。きのこブラックベリーを添えて。02. それぞれの料理に合わせたワインをグラスで楽しむこともできる。03. 総料理長のフィリップ・ラベ氏。



03



01



02

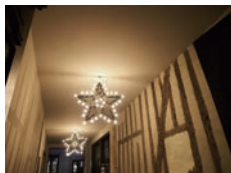
03

01.02. グラスには、ワイン名の書かれたマークを付けてくれるので、記念に持ち帰ることも。グラスワインは～10€、～16€、～26€、26€～の4つの価格帯に分かれている。03. ススキのカルパッチョ、しょうがとタイム風味（18€）。

街で見つけたStar #2



パリの名所、エトワール凱旋門。ここが星に関係があるかというところ、エトワール（星）という名前。凱旋門を中心に12本の通りが放射状に伸び、上からみると星のよう！パリはまさに星の街でした。



パリで人気のライフスタイルショップ「メルシー」にも星が出現！雑貨、家具から洋服まで、新しいスタイルを提案し、いつも多くの人でにぎわっています。いっそう輝きを増す冬のパリはいかが？

DVD

case study Voyage

観てから旅に行く？ 行ってから観る？

「どこかに行きたい！」そんな旅情をかきたてる映画を3本ご紹介します。

Selection&Text: Takeshi Oka

岡 大さん

フリー編集者・ライター。出版社勤務を経て、2004年に独立。映画雑誌、映画パンフレットの編集・執筆をはじめ、雑誌やウェブへの寄稿を行っている。アメリカ、イギリス、中国、韓国、タイ、ハンガリーなど、海外取材も多い。



DATA 監督：クリス・マロイ 出演：イヴォン・シュイナード、ダグ・トンプキンス、ジェフ・ジョンソン 『ワンエイティ・サウス』DVD キングレコード ¥4179 発売中

パタゴニアの大自然が 美しいドキュメンタリー

『ワンエイティ・サウス』

1968年、当時まだ未開の地だった南米パタゴニアへの冒険に出たイヴォン・シュイナードとダグ・トンプキンス。その記録映像に魅せられた青年が、彼らの旅を追体験し、高峰コルコバド山登頂を目指すというドキュメンタリー。美しい大自然の映像だけでなく、青年が旅を通してさまざまなことを学んでいく姿が、我々を旅へと誘う。ちなみに、イヴォン・シュイナードはパタゴニア、ダグ・トンプキンスはザ・ノース・フェイスと、それぞれアウトドアブランドを創設した、その筋(?)では伝説の人物。アウトドアウェアを着て、まずは高尾山にでも登ってみよう？



© 2009 180° SOUTH LLC.



パリの名所を網羅した ウディ・アレン監督作

『ミッドナイト・イン・パリ』

DATA 監督・脚本：ウディ・アレン 出演：オーウェン・ウィルソン、マリオン・コティヤール、レイチェル・マクアダムス、キャシー・ベイツ、エイドリアン・プロディ 『ミッドナイト・イン・パリ』DVD 角川書店 ¥3990 発売中

ニューヨークで『アニー・ホール』や『マンハッタン』などの名作を生み出し続けてきたウディ・アレン監督だが、2005年以降は海外での映画作りに専念。『ミッドナイト・イン・パリ』もタイトル通り、舞台はパリだ。脚本家の主人公が、夜な夜な1920年代にタイムスリップして、ヘミングウェイやピカソといった芸術家たちと交流していく……。アメリカ人の主人公が現代と過去それぞれのパリの魅力に気付いていくように、我々もパリに惹き付けられること間違いなし。ロマンティック・コメディとしても秀逸で、アカデミー賞では脚本賞を受賞した。



森田芳光監督の遺作と なった“鉄ちゃん”映画

『僕達急行 A列車で行こう』

DATA 監督・脚本：森田芳光 出演：松山ケンイチ、瑛太、貴地谷しほり、村川絵梨、ヒール瀧、笹野高史、西岡徳馬、伊武雅刀、星野知子、伊東ゆかり、松坂慶子 『僕達急行 A列車で行こう』DVD バンダイビジュアル ¥3990 発売中

鉄道趣味を持つ森田芳光監督が、30年以上あためてきた企画を映画化。撮影に使用された車両20路線、80車両は史上最多だと言われており、鉄道ファンには垂涎の映画と言えるだろう。一方で、小町圭と小玉健太というふたりの青年の友情と恋を描いたハートフル・コメディでもあり、鉄道に興味のない人でも楽しめる。鉄道好きというオタクなイメージを持つ人もいるだろうが、松山ケンイチと瑛太が演じているのだから、先入観もなく観ることができるはず。この映画を観たら、健太のように青春18きっぷで旅に出たいと思う人もいるのでは？

T

case study Voyage

ravel idea for 2013

旅好き 8人のこだわりの旅アイデア

旅を愛する8人が「こんな旅をしてみたい!」というアイデアを披露。
2013年の旅の参考にしてみたいかをご紹介します?



2012年夏に訪れた香港では「ドラえもん」のイベントに遭遇。100体の模型が展示されていた。

上田祥子さん

美容ジャーナリスト。雑誌、出版の企画や執筆、韓国取材のコーディネートを手掛ける。著書に「お値打ちソウル forビューティー」(メディアファクトリー/山下マヌー&上田祥子)などがある。
<http://ameblo.jp/lotus100-uedasachiko/>

SACHIKO UEDA IN THAILAND



ブーム到来? タイで美容&美食三昧!

2013年はタイブームが来ると予測しています。なんせ、おいしい! キレイの素がいっぱい! しかも物価が安い! これで注目されないほうがおかしいというものです。タイでまず体験したいのは「チバソム」でのデトックス。そしてバンコクで美味しい激辛料理に舌鼓を打ち、パワースポットとスパを巡ってさらなる運気を呼び込みたいですね。タイのパワーを味方につければ鬼に金棒な2013年になること間違いなしです!

Asami Kuchio in South India



南インドのスパイスと家庭料理を学びたい!

旅に出るとその土地の料理や文化を目いっぱい吸収するようにしています。行ってみたいのは米を主食とし、野菜や豆をたくさん食べる南インド。レストランでは味わえないストリートフードや家によって異なる家庭の味、スパイス使いを学ぶ旅をしたいです。体にやさしいヘルシーな料理は、日本人にもきっとマッチするはずです。



トルコのマーケットでも現地のをたっぷり楽しんだ。

口尾麻美さん

料理研究家。Amazigh (アマジーク) 主宰。旅からインスピレーションを受けたジャンルにとわれない料理を提案。近著に「これだけで完全食 ミンスープ」(講談社)など。<http://je-suis-amazigh.blogspot.jp/>

キッチンミノルさん

写真家。テキサス州フォートワース生まれ。2005年よりフリーランスフォトグラファーとして活動開始。『AERA』連載「はたらく夫婦カンケイ」など雑誌を中心に広告などで活躍。写真集に「多摩川な人々」(ミルブックス)、『海』(テキサスブックセラーズ)がある。
<http://www.kitchenminoru.com>

Kitchen Minoru in Mexico



数年前に仕事で訪れたインドネシアのトラジャ。さまざまな過酷な体験も。

「ルチャ・リブレ」を見たい! 撮りたい!

「ルチャ・リブレ」とは、メキシコのプロレスで、ルチャドール(レスラー)の約半数がマスクマンということも有名です。その理由には諸説あるようですが、数々の古代文明の中にある仮面信仰と結びついているとも言われ、神に近いヒーローになりたいという願望から生まれたものだそうです。だからこそきらびやかで格好いい。メキシコには約200か所のルチャ・リブレ会場があるそうで、写真を撮り、ルチャドールと交流しながら旅をしたい!



山下マヌーさん

旅行作家。海外渡航歴300回超。独特の視点で集めた海外情報と軽妙な文体が、読者の支持を集めている。近著に『山下マヌーの定番ハワイの遊び方』(エイ出版社)など。<http://ameblo.jp/manoue/>



カカオで眺めた壮大な夕日。その場所で見られない風景は旅の醍醐味のひとつ。

MANOUE YAMASHITA IN ISLAND



島々を泊まり歩く アイランドホッピング

見知らぬ島を次々に渡り、泊まり歩いてみたいですね。行った先の島が心地よければ、好きなだけ留まり、飽きたら次の島へと移っていく。特に何をやることも決めず、予定レスで目的レス。敢えていうなら移動することが目的という、そんな旅。場所はどこでもOK。太平洋には数多くの見知らぬ島が浮かんでいるし、カリブやタイの海にも知らない島がたくさんある。メジャーではなく、マイナーな島をめぐる…そんな Island Trip をしてみたい。

平松昭子さん

イラストレーター。雑誌をメインにイラストやマンガを描く。広告や文庫表紙、商品パッケージなどでも活躍。着物好きとしても有名。kate spade new york 日本公式プロガーとしても活躍中。
<http://kimonosnack.blogspot.jp>

Akiko Hiramatsu in New York



ケリー・ウェアスラー デザインのホテルへ

アメリカを中心に活躍する若くて美しいインテリアデザイナーで、最近ではファッションデザイナーでもある、ケリー・ウェアスラー。彼女が内装を手がけた、モダンでゴージャスなホテルを旅して回りたいです。そんなときに乗ってみたいのがニューヨークの大好きなブランド、DVF (ダイアン・フォン・ファステンバーグ) のロゴの入ったタクシー。このタクシーに乗れるといいことが起こると言われています。

武井実子さん

活版印刷を中心としたペーパーアイテムを展開するブランド「SAB LETTERPRESS」を立ち上げ、オリジナル製品を販売。紙や活版印刷にまつわる活動を行っている。
<http://sabletterpress.com>



RITSUKO TAKEI IN WEST COAST OF USA

愛猫とめぐる アメリカ西海岸の旅

愛猫があまりにかわいいので片時も離れたくなく、一緒に旅してみたいです。夫婦で2週間の海外旅行をしたときなどは、愛猫の写真をみてはホームシックになっていました。アメリカ西海岸の理由は、愛猫がラグドールというロサンゼルス原産の種類のため、本家のブリーダーを訪ねたり、ビバリーヒルズ青春白書のロケ地巡りなど(これは私の趣味です)をするため。雑誌で取り上げられるようなオシャレな場所とは無縁の旅が理想です。

ウィーンの街に息づく建築をゆっくり楽しみたい!

オットー・ワグナー、フリーデンスライヒ・フンデルトヴァッサーによる、時を隔ても街並みに息づく建物を探め、中央ヨーロッパ、オーストリアの首都ウィーンを巡る旅をしたいです。ワグナーのマジョリカハウス、カールスプラッツ駅、郵便貯金局やフンデルトヴァッサーのフンデルトヴァッサー・ハウス、シュピッテラウ焼却場、ウィーン郊外の温泉リゾート、ローグナー・バード・ブルマウを、時の流れや訪れた季節と共に楽しみたいですね。



茂木雅代さん

日立デザイン研究所のプロダクトデザイナーなどを経て、1992年にスタイリストとして独立。雑誌や広告のインテリアスタイリング、展示会場構成、ショッピングプランニングなどを手がける。



Masayo Motegi in Wien

何度でも訪れたくなる国ポルトガル。リスボンの新市街にある海洋博物館もお気に入り。

イタリアを北から南へ のんびりと訪ねたい!

美味しいものを食べ、綺麗なものを見て、美しいものに触れるなど、感動をいっぱい得られることをしてみたいですね。イタリアですから何でも美味しいと思うのですが、北と南では、まったく食文化も違うのでそれぞれを体験しながら、青の洞窟(カプリ島)に行くと感動的な“青”を感じ、美術館を回り、建築物に触れ……という、お気楽な感じの旅をしたいですね。あと、ゴッドファーザーなど映画のロケ地には絶対に行きたいです。

美香さん

東京・南青山のヘアサロン「AMATA」オーナー。毛髪診断士としての知識と経験を生かした美髪メニューを、開放感あふれる空間でリラクゼーションとともに提供している。
<http://www.pro-feel.net/>



MIKA IN ITALIA



2012年3月に訪れたヴェネツィア。イタリアの中でも、またゆっくりと旅してみたい街だそう。